

ちよこつと通信

素朴なギモン 何が違うの？

? 池と沼と湖

日本各地に有名な湖や池、沼があり、観光地となっているところもあります。いわゆる“水のたまり場”ですが、何が違うのでしょうか？国土交通省や環境省では、「湖沼等の用語については、厳密に区別することは困難です」としたうえで、スイスの湖沼学者フォーレルによる定義を紹介しています。

湖:水深が大きく、植物は湖岸に限られ、中央の深い所には沈水植物を見ないもの

沼:湖より浅く、最深部まで沈水植物が繁茂するもの

池:通常、湖や沼の小さなものを

いい、特に人工的に作ったもの

湖と沼は水深で区別され、一般に水深5m以上の場合は「湖」、5mより浅いものは「沼」と区別されているようです。

日本で最大の湖は滋賀県にある琵琶湖。およそ400万年もの歴史を持つ日本最古の湖で、面積は約670km²、水深は一番深いところで約104mとされています。深さで言えば秋田県の田沢湖が水深約423mで第一位です。沼や池の代表例として国土地理院のホームページでは

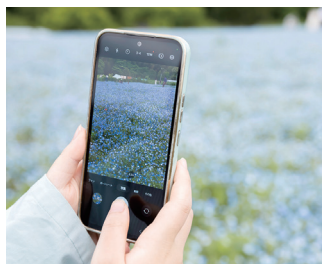
千葉県印旛沼や宮城県伊豆沼、香川県の満濃池を挙げています。なんでも沼と付くのは東日本、池と付くのは西日本に多いのだそうです。新緑と水が作り出す美しい初夏の景色を愛でに出かけてみてはいかがでしょうか。



暮らしのAI活用法

📱 道端で見かけた花の名前を聞く

5月にもなると公園や街の花壇などで美しい花を目にする機会が多くなります。毎日の散歩や通勤・通学も少し楽しくなりますね。美しい花をただ「眺めるだけ」というのはもったいない！そこで、興味をひかれた花はスマホでパシャッと撮影して、AIに読み込ませてみましょう。花の名前はもちろん、特徴や育て方、花言葉まで教えてください。毎日続けたら、気づけば花に詳しくなっているかも！



なるほど！日本語トリビア

🗨️ 「涼しい顔をする」ってどういうこと？

大変な状況でも平然としている様子を指す「涼しい顔」。この言葉には、内面の動揺を表に出さず、爽やかな風が吹くような余裕を保つという日本人の美学が込められています。古来、私たちは「熱い思い」や「身が引き締まる」など、心の動きを肌で感じる温度や体感に重ねて表現してきました。心情を景色や気候と結びつける豊かな感性を、初夏の風とともに大切に味わいたいものです。



本紙掲載記事の無断転載・複写を禁じます。編集・制作:港北メディアサービス

マニユライフ生命保険株式会社



マニユライフ生命コールセンター
0120-063-730

受付時間9:00~17:00(土日祝・12/31~1/3は除く)

本社:〒163-1430 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号
東京オペラシティタワー30階

公式ウェブサイト:www.manulife.co.jp

●担当は